

## 平成 19 年度鳥取市政懇話会

### 第 1 回「観光資源の魅力アップにより観光客の大幅増加」部会 議事概要

日 時：平成 19 年 5 月 29 日（火）午前 10 時 30 分～11 時 40 分

会 場：鳥取市役所本庁舎 6 階会議室

出席委員：宇津原恵美委員、岡垣幸得委員、四宮昭彦委員、水根富士雄委員、山崎祥次委員、山本大順委員（欠席：福本登委員、山本朝子委員）

鳥 取 市：竹内功鳥取市長、堀田利明経済観光部次長兼観光コンベンション推進課長、西村朋之広域交流イベント準備室長（事務局：企画調整課 井上）

#### 1. 部会長、副部会長の選任について

互選により、山本大順委員が部会長に選出。副部会長は、山本部会長の選任により岡垣幸得委員が就任した。

#### 2. 部会のテーマについて

山本部会長 マニフェストの資料に載っている具体的な取り組みに対して提案すべきか。

竹内市長 全くかけ離れた議論は想定していないが、選挙の公約に掲げたものであり、これをよりよく実現していただける提案であれば。取り組みへの御意見や批判も OK だし、新たな提案も求めたい。

委員 人によって「観光」に対する認識のずれはある。レベル合わせをする必要がある。

これからの観光は「面」を売り出し、「線」を作るもの。誰に売り込むかという考え方が大事。イベントはいいがターゲットが誰か明確化しないと散漫なイベントになる。これからの観光のメインターゲットをよく認識すること。シニアマーケットが中心。シニアの要求は「旅がしたい」。そういう人にどうやって因幡を売り込むか。

観光客の目線で観光地を見つめることが大事。バランスを意識しながら、どれが、どこがいいか考える。白兔の道の駅は、支配人の顔が見えない。どういう道の駅にしたいのか。「因幡」を売り込むにも行政・民間をまとめて「こうしてくれ」と言えるプロデューサーが必要である

岡垣副部会長 観光客の目線は大事。よそに行ったときも、かんばっているところ、そうでないところがよく分かる。

鳥取は資源があるのに活用する「人」がいない。結局自分でお客さんを連れて歩くことになる。

山本部会長 「2009 鳥取・因幡の祭典」は一度検討したい。

鳥取砂丘は、砂像がある東側、新たな整備を行う西側をそれぞれ検討したい。

堀田次長 御検討いただく前に、砂丘の現状をよく認識していただければと思う。肌で砂丘を感じていただくこと、自然公園法の規制の状況を知っていただきたい。

山本部会長 委員の中でも現状認識に違いがと思うので、現場を見たい。

HOT トライアングルについては、連携はいいが、観光では他に食われてしまう。中身をどうするかが重要。特に広報のあり方を検討したい。

コンベンションの現状はどうだろうか。

堀田次長 実績が上がらず苦勞すると思っていたが、それなりに案件がある。

西村室長 平成7年にコンベンションビューローが米子にできた頃は、西：東が2：1。今では1：1になった。

委員 白兔の道の駅は、道の駅に見えない。私の地元の気高との連携もあるので、白兔について考えたい。

委員 ただ話し合っているのではなく、観光を「実行」することが大事。テーマを絞っていくことが必要だ。

事務局 お話しいただいた中で、まずは「2009 鳥取・因幡の祭典」を最初のテーマとし、次に「砂丘」、HOT 連携の具体的な内容が出てきた段階で「HOT 連携・広報」をテーマとしてはどうか。観光地点検については随時。

一同 了承。

事務局 次回の開催日程は、皆様のご意見から、8月下旬とし、事務局から日程調整の連絡を差し上げる。